

### 3 研究のまとめ

#### (1) 成果

小学校外国語科において、クラスルームイングリッシュの活用を通じた指導の在り方を提案することができました。

- ワークシートに書かれたクラスルームイングリッシュを児童と共有し、毎時間その英語表現を繰り返し聞かせたことで、類推しながら反応したり、英語の質問に答えたりする児童が増えました。
- 「聞くこと」において、十分にクラスルームイングリッシュを聞かせた後に、英語を使った「話すこと [やり取り]」を行うという段階的な指導を取り入れました。このことによって、自信を持って英語表現を声に出し、自分の考えや気持ちを英語で伝え合おうとする児童の姿が見られるようになりました。

#### (2) 課題

クラスルームイングリッシュを系統立てて整理していく必要があります。

- 「教師が英語を話すモデルとなる」という視点から考え、クラスルームイングリッシュを教師からだけの英語表現に限定せず、児童が発話する英語表現も含めたことは価値があったと思われます。しかし、授業中に使われるクラスルームイングリッシュは、かなりの数に上るため、それらを場面ごとに整理する必要があります。